

2019年1月23日付け西日本新聞にて「笠原棚田米プロジェクト（八女市黒木町笠原）」と「黒川故郷米プロジェクト（朝倉市黒川）」のことを紹介いただきました。2012年の豪雨で被害を受けた笠原地区の農地復旧ボランティアに取り組む中から、笠原棚田米プロジェクトが誕生し、これまで多くのサポーターさんと笠原の農家と一緒に棚田の風景を守ってきました。2017年の豪雨で朝倉市黒川地区が大きな被害を受けた際、山村塾はこれまでの経験を活かし、黒川地区の農地復旧などのボランティア活動を後方支援してきました。そういった縁もあり、笠原の取り組みをモデルにした黒川故郷米プロジェクトが立ち上がったことを記事にさせていただきました。多くの皆さんに参加・協力いただいたことが、ほかの地域の災害復興に役に立って、とてもうれしく思っています。

棚田の風景を守ることを目指し、「食べる人」と「作る人」がお互いの顔を思い浮かべ、毎日の食卓と毎日の農作業を楽しむ暮らしが広がることを期待します。詳しくは新聞記事を同封していますので、ご一読ください。（山村塾 小森耕太）

今月のお米 石崎辰之助さん「ヒノヒカリ（特栽米）」：鰐八地区



石崎辰之助さんは昭和15年生まれで、笠原棚田米プロジェクトの最年長です。明治5年ほどから始まったと言われる人形浄瑠璃を地域で継承する旭座人形芝居保存会の会長として、家族で伝統文化を守る取り組みにも参加されています。

辰之助さんの棚田は道路から入り込んだ小さな谷に続く小さな田んぼです。ため池と山水だけのきれいな水で栽培されたお米です。どうぞご賞味ください！

◆農薬化学肥料不使用をお申込みの皆様には、大橋幸太郎さん「農薬化学肥料不使用ヒノヒカリ」をお届けしています。

◆事務局より

○サポーター募集中！ 6年目を迎えた笠原棚田米では新しいサポーターさんを募集しています。チラシを配布・設置のご協力いただける方は事務局までお知らせください。また紹介用のサンプル（白米450g）もお届けします。興味のある方いらっしゃいましたらご紹介よろしくお願ひします！

○次回のお届け 次回（3/6発送）は川原孝行さんの「つくしろまん（特栽米）」をお届け予定です。

※精米歩合の変更や配達先変更をご希望の方は、発送の前月20日までにお知らせください。

※3/5（火）13:30～@えがおの森 お米の発送作業を予定しています。次回は、西日本新聞さんのおかげでプレゼント用5キロ×60袋の袋詰め作業があります。お手伝いいただける方歓迎です！



こめづくり もりづくり ひとづくり

山村塾

美しい棚田を未来へ

特定非営利活動法人 山村塾

〒834-1222 福岡県八女市黒木町笠原 9836-1

TEL/FAX:0943-42-4300 E-mail: info@sansonjuku.com

山村塾 HP <http://sansonjuku.com>

【現在のサポーター数】1月86→87名/109.75俵（個人：85、企業/団体：2）

【守られている棚田面積】18,292㎡（109.75俵⇒182.9a 収量6俵/10aとして）

※美しい棚田の風景と、それを守り引き継ぐ仕組みづくりを目指して、

お米を食べて応援して下さるサポーターを募集しています！ [チラシはこちら](#) →

